



市議会だより

No. 63

令和2年11月

9月定例会は9月2日から9月24日までの23日間の会期で開催されました。



トピックス

- ・特集記事 飛び出せ議会 (P2、3)
- ・水産大学校等誘致に関する調査報告 (P6)
- ・議長メッセージ (P7)
- ・議員定数調査特別委員会を設置 (P16)

▲東雲小・中学校の運動会

★ 市議会は、受付の名簿に氏名等を記入するだけで傍聴できます。お気軽にお越しください。

★ 市議会に関する情報は佐伯市のホームページから閲覧できます。

検索

イベントを多く開催してほしい コロナ禍で大変だが、がんばる。

飛び出せ議会

今回は特別企画として、13年目を迎えた「黒潮の極 佐伯寿司海道」の匠たちに話を聴きました。日本でも有数の漁場として知れた豊後水道、年間を通して豊富な魚種を育んできました。その新鮮な魚で握る寿司は、味を知り尽くした人々をうならせています。黒潮に育まれた美味しい魚を寿司職人の技が、もう一つ上の味を作り出します。

黒潮の極 佐伯寿司海道とは

地物の50種類以上の魚介類を見直し地産地消を考え、より質の高い「佐伯寿司」をめざそうという寿司職人たちが契りを交わして始まりました。

錦寿司
田中さん
(佐伯寿司海道
世話人会 会長)



海温が上がったからだろうか、魚の匂が変わってしまったね。



味処まこと寿し
川辺さん

コロナ禍で大変。休みが多くなった。しかし夫婦でやっているので乗り越えられる。



寿し好
清家さん

伝統は守りながら寿司の概念を打ち破りたい。

地産地消・寿司の技 地元の人に愛される店をめざす

市や議会に望むこと

- 市内や市外の人たちが集まるようなイベントを開催してほしい。
- コロナ禍の中、佐伯エールクーポンは飲食業者にとって非常に助かった。機会があれば、またお願いしたい。
- 文化会館のどん帳は、貴重なので何とか残してほしい。
- 市職員の異動を考えてほしい。仕事に慣れたと思ったら替わっていく。

つぶやき

- コロナウイルス感染症のため、客数が4割から5割減になった。
- 佐伯市が高速道路の終点だった頃が、一番お客様は多かった。
- どうしたらお客様が来るようになるかを考えている。
- 佐伯市観光協会に旅行会社から出向されている方にとても助けられている。是非、残してほしい。
- 冠婚葬祭の形が変わり、大人数が少なくなり、少人数が多くなった。



9月 定例会

新型コロナウイルス感染症対策事業など
一般会計補正予算を可決

補正額12億1271万円

9月定例会は、9月2日から24日まで開催され、議案27件、諮問3件、専決処分の報告1件、意見書2件の審議を行い、慎重審議の結果、原案のとおり可決、同意、承認されました。

市内消費喚起に向けて

新型コロナウイルス感染症緊急対策中小企業支援事業

市内における消費喚起を促し、中小企業の活性化による地域経済の循環を創出するため商品券を発行する事業

『さいき子育て世帯応援商品券』

今度は子育て世帯が対象！
プレミアム率 50%の商品券

一般会計補正予算を可決

1枚5000円の15枚つづり(75000円)を50000円で販売します。

対象者は、一人2冊まで購入できます。

◆対象者

令和2年10月1日以降に佐伯市に住民票がある方で平成14年4月2日以降、令和2年12月31日までに生まれた方が対象です。(対象者の世帯には引換券を送付)

◆発行券(商品券)

額面5000円のA券10枚、額面5000円のB券5枚の計15枚を一冊とし、50000円で販売します。A券・B券とも、市内本店の全ての登録店で使用できますが、市外本店の登録店では、B券のみが使用できます。

◆発行・利用期間

令和2年12月7日(月)から令和3年2月28日(日)までです。購入には引換券が必要となります。

商品券の販売は、各郵便局となります。

GIGAスクール構想の実現へ

児童・生徒に一人一台
タブレットを配布

中学生 1652台
小学生 3145台

学校情報ネットワーク環境整備事業

国が進めるGIGAスクール構想における校内通信ネットワーク環境の整備に伴う無線LAN整備



▲タブレット端末を利用した授業の様子

家庭学習のための

通信機器整備支援事業

学校の臨時休業時に、学習用タブレット端末を利用したオンライン授業を行うことができるよう、環境の整っていない家庭にモバイルWi-Fiルーターの購入費の一部を補助

GIGAスクール構想とは

児童・生徒に一人一台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質、能力を確実に育成できる教育ICT環境の実現

これまでの
教育実践の蓄積

× ICT =

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学び
の視点からの授業改善

総務常任委員会

予算外議案5件
全て可決すべきものと決す

消防力強化と各地域の 消防団活動を支える

消防施設機材は、市民の命と財産を守るために必要不可欠なものであるため、施設建設や各種車両・機材を購入するものです。

●鶴見地区に建設する

東部分署建設工事請負契約を締結

契約先 (株) 佐々木建設
契約金額 2億1604万円
工期 令和3年6月30日まで

質疑

大規模災害時の東部分署の2階の活用方法は。

答弁

2階部分については、鶴見振興局の代替施設として考えている。



●消防車両・機材の購入

・小型動力ポンプ付き積載車
(普通車4台・軽四1台)
・林野火災用可搬式散水装置12個

契約金額
3201万円
納入期限
令和3年1月29日まで



▲積載車

●高規格救急自動車

令和3年3月22日までに蒲江分署に配備

契約金額
3839万円

建設経済常任委員会

予算外議案6件、専決処分の報告1件
全て可決・承認すべきものと決す

佐伯市35漁港 施設管理のため有料化へ

佐伯市漁港管理条例の 一部改正について

漁業活動の支障となつていづるプレジャーボート等の放置艇が停けい泊できる施設「係留等指定施設」を新たに指定し、それに伴い使用料の設定等を行うものです。この条例改正により、プレジャーボート等の放置艇を解消し、許可艇とすることで、漁港の適正管理を図ることができるようになります。

質疑

係留等指定施設の使用料は。

答弁

大分県漁港管理条例と同額料金。船の長さ5メートル未満、1か月1750円。5メートル以上、1か月2600円とする。

質疑

今まで無料で停けい泊していた場所が有料となることに対して説明会でどのような意見が出されたのか。



▲放置艇が引き起こす問題

答弁

説明に対して、理解を得られたのではないかと感じている。

質疑

台風等でプレジャーボートに危険を生じる場合に、漁協の方がプレジャーボートの所有者と関係する地域の方と連絡をとって対処できるように使用許可申請時に漁協の同意を得ることを必要とするような規則の整備はできないか。

答弁

新たに船を泊めたいという方に対して、誓約書を提出してもらうように準備をしている。

教育民生常任委員会

予算外議案7件
全て可決すべきものと決す

文化財の保存・活用、 継承を守るために

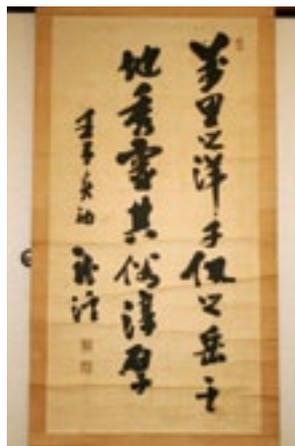
地域における文化財の総合的な保存・活用の促進、文化財の継承に向けた制度の見直し、罰則の見直しを行うため、条例の一部を改正するものです。

主な改正内容

① 指定有形文化財等の所有者が、自身に代わり文化財の保存・活用を行う人等を選任する管理責任者の選任要件の拡大。

② 市指定文化財に対する毀損等の行為に対する罰金の最高額の引上げ。

行為内容	改正前	改正後
損壊、毀損、 隠匿、滅失等	3万円	10万円
無断現状 変更等	2万円	5万円



▲矢野龍溪自筆書幅
(市指定有形文化財)

質疑

文化財の管理責任者は、誰が選任するのか。

答弁

文化財の所有者が管理者を選任し、市に届けて市が承認する。

質疑

市の指定有形文化財の数はいくつあるのか。

答弁

市指定の有形文化財が137件。教育委員会が寄託等により管理しているものが14件ある。

水産大学校等誘致に関する調査報告

佐伯市の水産業を 未来へ紡ぐために！

平成30年12月に「水産大学校等誘致に関する調査特別委員会」を設置し、水産大学校及び水産業研究機関の誘致について、大分県南部振興局等の行政機関や、養殖学にも実績がある近畿大学からの意見聴取など、調査・研究を行ってきました。



▲大分県との意見交換会の様子

水産大学校の誘致は！

現状では誘致に伴う用地の確保や、財政的な負担も予測される中、大学側としても学生確保などの課題も伺えました。

将来的な誘致を実現させるためには、大学校との連携や関係性を強化することが重要と捉え、大学教授を招へいしての技術相談や市民講座などの取り組みを行い、併せて本市へのインターシップや、大学校からのフィールドワークの受け入れを行うなど、地域振興に併せた「人の誘致」から積極的に取り組むことが必要であると結論付けました。

水産業研究機関の誘致は！

本市では350種以上の魚種が水揚げされており、大分県や国立の研究所、民間企業の水産関係研究所が立地している環境にあります。今後も水産業研究機関を誘致することは、本市の水産振興に寄与し、若者の雇用場所の確保や地域経済の活性化に期待できます。

企業誘致の観点からも、本市の遊休財産を積極的に活用することを視野に、情報提供及び企業とのマッチング機会を増やすなど、水産業研究機関誘致への可能性を高める取り組みが必要であると結論付けました。



議長メッセージ

新型コロナウイルス感染症対策

市民の皆様、佐伯市の新型コロナウイルス感染症対策に心温まる御理解を賜りありがとうございます。

今回の新型コロナウイルスは、未知の部分が多い上、様々な情報が飛び交い、多くの方々が不安を抱えておられることと思われます。こんな時こそ正確な情報を迅速に市民の皆様にお届けしなければなりません。

佐伯市においても2月28日に佐伯市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、感染拡大の防止に向けた取り組みを行っているところであります。引き続き、市民の皆様一丸となって、新型コロナウイルス対策にぜひとも冷静な対応をお願いするとともに、「かからない」、「うつさない」、そのためにもこまめな手洗いやうがい、咳エチケット等々の徹底に御協力をお願いいたします。

また、佐伯市議会においても、5月1日に市民の生命と生活を守るための感染防止と緊急経済対策が遂行されるように「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」、また、9月24日に「新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書」を全会一致にて可決し、国に提出し、新型コロナウイルスへの取り組みについて強く強く要望しているところであります。

引き続き、市民の皆様におかれましては、外出の際には人混みを避け、人と人との距離を保ち、マスクを必ず着けるなどの行動をお願いします。そのことが、自分の命を守る、ほかの人の命を守ることとなります。市民の皆様のお協力をお願いします。

終わりに市民の皆様、気候の変わり目です。どうぞご自愛ください。

佐伯市議会議長 三浦 渉

意見書

本会議での採決の結果、2件とも原案のとおり可決されました

●新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書



趣旨

新型コロナウイルス感染症が世界的にまん延し、我が国は、戦後最大の経済危機に直面している。地方自治体では、医療介護、子育て、防災・減災、雇用の確保など喫緊の財政需要への対応を始め、長期化する感染症対策が迫られている。地方財政は巨額の財政不足が生じ、厳しい状況に陥ることが予測されることから、令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、強く要望するものである。

- ① 地方税、地方交付税などの一般財源総額を確保すること。
- ② 地方交付税については、財源保障・調整機能が発揮できるように総額を確保すること。

●地方財政の充実・強化を求める意見書

趣旨

地方自治体は、子育て支援、医療、介護などの社会保障、被災地の復興、環境対策、地域交通の維持など、果たす役割が拡大する中で、近年多発している大規模災害に対応するための防災・減災事業の実施や、新型コロナウイルス感染症対策など、緊急を要する課題が直面している。

2021年度の政府予算、地方財政の検討に当たっては、歳入・歳出を的確に見積もり、社会保障予算の充実、地方財政の確立をめぐり、

一般質問

9月8、9、10、11日

※一般質問の掲載について

一般質問の記事は、議員の責任において、本人が質問・答弁の原稿を作成しています。その内容に相違がないときは原則として原文のまま掲載しています。

なお、一般質問の掲載順序は紙面の都合上、質問順とは異なります。

質問者	質問の要旨
上田 徹	1. 新型コロナウイルス感染症対策での備蓄品について 2. 人権問題について 3. 八幡地区の公園の整備について
菅 さとみ	1. マイナンバー制度の問題点について
河野 豊	1. 国道217号戸穴バイパスについて
西條 隆洋	1. 公衆無線LAN (Wi-Fi) の整備及び利活用について 2. 災害時におけるペットの救護対策について
吉良 栄三	1. 防災カメラの設置について 2. 市営住宅の運用について 3. 第2次佐伯市総合計画の検証について
後藤 勇人	1. プラスチックごみ (プラごみ) について 2. 学校へのスマートフォンや携帯電話の持ち込みについて 3. 特殊詐欺撲滅について
坪根 大吉	1. 水産業の振興策について 2. 佐伯市公設水産地方卸売市場について 3. 福泊漁港海岸の高潮対策について 4. 佐伯市消防署上浦派出所の移転について
森 三千年	1. 廃プラスチックについて 2. 佐伯市の小・中学校の臨時、非常勤講師について
本田 房代	1. 佐伯市補助金交付事業について 2. 指定管理施設における新型コロナウイルス感染症対策について 3. 飼い猫の不妊及び去勢手術への助成について
富松 万平	1. 県道色宮港木立線について 2. 本市の財政状況について
浅利美知子	1. 新型コロナウイルス感染症対策について 2. インフルエンザ・高齢者肺炎球菌ワクチンについて 3. 在宅療養等支援用具について
矢野 幸正	1. 佐伯市行政経営推進プランについて
井上 清三	1. 人材育成について
濱野 芳弘	1. 食のまちづくりについて 2. 水産業の支援について 3. 県道梶寄浦佐伯線について
飛高彌一郎	1. 佐伯城跡の石垣について 2. さいき城山桜ホールについて 3. 津波避難タワーについて 4. 自主財源の確保について
塩月 健治	1. 弥生井崎地区の内水対策について 2. 自伐型林業の推進について 3. 佐伯市消防団について
福嶋 勝彦	1. 地区公民館のコミュニティセンター化について
大野 達也	1. ガソリンスタンドの存続について 2. 都市計画について 3. 大分県内のメディア活用について
佐藤 元	1. 佐伯市の財政について
高司 政文	1. 緊急時の避難誘導について 2. コロナ禍における少人数学級の推進について



人にやさしい佐伯市を めざして

上田 徹

問 人権を守るための啓発活動は、どのようなことをしているのか。

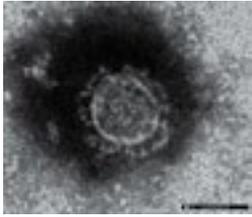
答 研修会や講演会を中心に、佐伯市の主催で昨年度は合計23回実施した。また、独自に人権研修会を開催する企業や団体に対し、無料で講師の派遣等を行っている。

問 佐伯市において新型コロナウイルスへの感染者が出た際に、感染者探しが始まり、噂話や誹謗中傷する事案が残念ながら発生したが、市としては、どのような対応をしたのか。

答 市報やホームページ等で、個人の人権を守るよう訴えた。8月には佐伯市全戸に対して、個人の特定等をしてないようにお願いする旨の市長メッセージを記載したチラシを配布した。

感染者探しはしないで
個人の人権を大切に

みんなでコロナ
ウイルスと闘おう



▲ 新型コロナウイルスの電子顕微鏡写真 (国立感染症研究所)



マイナンバー制度利用 拡大による不安は!?

菅 さとみ

問 マイナンバー制度は、情報セキュリティ上のリスク、自治体の行政職員の負担、民間企業への負担など数多くの問題を放置したまま、政府は更にマイナンバー制度の利用拡大を模索している。

答 コロナ対策の臨時交付金申請でもマイナンバーと口座情報のひも付けを推奨し、徴税強化などに利用されるのではないかと懸念も出ているが、市はどう捉えているのか。

問 マイナンバーを始めとする市の取り扱う情報の重要性を認識し、技術的対策、人的対策、情報セキュリティの強化に努める。

答 政府はマイナンバーと銀行口座をひも付けて、キャッシュレス決済を進めている。買い物情報や預金出入金などの資産を把握し、終戦直後の昭和21年に一度行われた預金封鎖からの「貯金税」25〜90%の累進課税導入が行われるとの見方もある。「貯金税」は完全に財産権の侵害と考えるが、市の見解を問う。

問 貯金税については、国や県から通知があれば適正に対処していきたいと考えている。



国道217号戸穴バイパス の状況は!?

河野 豊

問 事業の進捗状況について問う。

答 事業主体の大分県佐伯土木事務所を確認したところ、用地買収は狩生側で完了し、戸穴側で残り1件、用地進捗率は91・6%となっている、工事については、昨年度、戸穴側の海崎郵便局付近において道路改良工事に着手しており、本年度は、旧大分信用金庫前交差点付近において流末排水工事を実施する予定となっている。来年度以降、引き続き、用地買収が完了した部分の工事を実施する予定となっている。

問 海崎駅裏の戸穴トンネル残土処理予定地について、総面積及び、区画整理事業に関する話がなかったのか問う。

答 総面積は約3・5ha。区画整理事業については、平成30年度に大分県佐伯土木事務所から残土処理予定地の利活用について相談があった際、区画整理事業も一つの案として提案され、利用方法について全庁的に検討を行ったが、具体的な進展はなかった。



さいきWiFiの実現に向けて!!

西條 隆洋

問 公衆無線LAN (WiFi) の整備状況について問う。

答 市役所本庁舎1階や各振興局に設置している「おんせんおおいWiFi」や、コンビニエンスストアのWiFiなどのフリーWiFiスポット、その他観光施設などに設置されているものを含め、80箇所程度ある。

問 市の施策として本市全域の公衆無線LAN (WiFi) のパスワードを統一するなど一元化に取り組む考えはないのか。

答 パスワードの統一など認証方式の一元化については、「フリーWiFi接続アプリ」(Japan Connected Free WiFi) などのインストールにより一度利用登録すれば、煩わしい認証操作を繰り返すことなしに、市役所等にある「おんせんおおいWiFi」やコンビニエンスストアのWiFiなど、全国の連携しているWiFiスポットを利用することができる。



▲ free Wi-Fi のイメージ図



災害時には早くて正確な情報を!

吉良 栄三

問 突発的で局地的な大雨が記録されるようになり、河川の氾濫や道路の冠水箇所が増えてくると危惧される。市内全域に設置されている防災カメラの必要箇所について、見直しや増設は考えられないか。

答 防災カメラは市内全域に47か所設置されており、台風等の災害時には33か所について、道路の冠水状況や河川の水位状況等をケーブルテレビにて皆様にお知らせし、市のホームページでも閲覧できる。今年度は、市が実施しているケーブルテレビの光化事業に併せて防災カメラの増設を計画しており、中村北町、福泊地区、浦代浦地区の3か所に設置する予定である。

問 災害時においては迅速な情報の収集により、正確で早い災害への対応が求められている。防災カメラによる情報配信を含めた防災情報について、携帯アプリの活用は考えられないか。

答 本市が運用している防災用の携帯アプリはないが、大分県が運用している「おおい防災」アプリから、最寄りの避難所や道路規制情報の閲覧ができる。また本市の避難情報等も閲覧できるので、防災カメラの画像配信も依頼している。このアプリを積極的に活用してもらおうようPRしたい。



特殊詐欺撲滅!

後藤 勇人

問 県内の過去5年間の被害件数及び被害金額について、また、これまでの被害防止に向けた取り組み及び成果について問う。

答 県内の特殊詐欺の被害状況は、平成27年度の被害は226件、被害額4億3000万円、平成28年度は219件、2億7000万円、平成29年度は237件、2億6000万円、平成30年度は126件、2億1000万円、令和元年度は118件、2億1000万円である。

被害防止に向けた取り組みは、市報及びホームページにおいて被害防止啓発を行うとともに、相談窓口を設置し、市民の方の相談に対応してきた。また、市が運営費補助を行っている佐伯市防犯協会によるケーブルテレビでの啓発、街頭での被害防止のチラシ配布、佐伯商工会議所の電子掲示板での被害防止の注意喚起なども行っている。

取り組みの成果については、この5年間の佐伯市における被害は平均で11件、1600万円、被害件数、被害額ともに大きく減少しているとは言えないが、今後も、警察、佐伯市防犯協会と連携し「被害ゼロ」をめざして取り組みを行っていききたい。





佐伯市消防署上浦派出所 移転に着手

坪根 大吉

問 佐伯市消防署上浦派出所の移転場所と実施時期について問う。

答 地元から提案があった2か所の候補地の土地鑑定結果については、対象地全域が土砂災害警戒区域と一部が土砂災害特別警戒区域に含まれていることから、公共施設の移転先には適さないと判断した。

上浦派出所の移転場所については、公共施設等総合管理計画を推進する中で取組を進めており、既存の公共施設を活用し、継続的な行政サービスの提供を図るため、上浦保健センターを移転先に考えており、令和3年度、設計、改修工事費を当初予算に計上、令和4年4月1日、開庁の予定である。



▲ 現在の佐伯市上浦保健センター



廃プラスチック問題への 取り組みを急ぐ

森 三千年

問 廃プラスチックが水産業に与える影響をどのように捉えているか。

答 海に流出したプラスチックごみは、海洋生物が誤って食べることによる生物被害や漁獲物への混入など、漁業へも損害を与えることが考えられる。さらに、廃プラスチックが細分化されてできるマイクロプラスチックには、有害な化学物質が吸着する性質があることが指摘されており、食物連鎖を通じて海洋生物へ影響を与えることが懸念される。

問 廃プラスチックの分別収集についての考え方を問う。

答 海洋プラスチックごみ問題などに世界的に取り組む中、国も「プラスチック・スマート」キャンペーンに取り組み始めている。佐伯市も「大分県プラスチック・スマート推進協議会」に参加しており、プラスチックごみの削減やリサイクルの推進に取り組むこととしている。本市の分別区分ではプラスチックごみはペットボトルのみであるが、今後の国の動向を注視し、いかに天然資源の消費を抑制し、環境への負荷も抑えられるかも研究し、プラスチックごみの分別収集について判断していきたいと考えている。



佐伯市補助金交付事業の 公開を！

本田 房代

問 佐伯市補助金交付事業の佐伯創生推進総合対策事業「元気な里・浦創造枠」について、事業の目的や概要、今年度の応募団体数とその内訳を問う。

答 市内周辺部の活性化を図るため、地域資源の活用、地域課題の解消に取り組む事業に要する経費の一部に対し、補助金を交付することとしている。今年度の事業の総予算額は2500万円、1事業当たりの補助限度額は1000万円である。補助率は採択された事業費の5分の4が基本であるが、不動産の取得や改修に要する経費及び50万円以上の備品購入等については2分の1である。

応募団体は11団体で、内訳は旧佐伯市内が2件、振興局管内9件（弥生1、直川3、本匠1、鶴見1、蒲江3）である。

問 事業計画（応募の目的や実施内容、期待される効果など）、審査内容、審査結果、実績報告などを市のホームページで公開すれば、これから応募をしようとする団体等の参考になり、応募数が増えると考えますが今後公開する考えはないか問う。

答 次回以降の応募団体の参考となるよう、事業概要や実績を中心に市のホームページに公開したい。



県道色宮港木立線の早期整備を！
富松 万平

問 県道色宮港木立線道路改良事業の進捗状況と今後のスケジュールについて問う。

答 大分県佐伯土木事務所によると、これまでに道路詳細設計、第二浦代トンネル及び橋梁等の主な設計が完了している。現在は用地取得に向けて関係者による境界確認を行いながら用地測量を実施している。今後は、図面等準備が整い次第、用地交渉に取り掛かる予定になっているとのことである。

問 本事業は木立地区の皆様にも多大な御迷惑をお掛けしながら進めていく事業である。そこで、木立地区から要望が上がっている事業関連区間の河川改良を、事業完了までには改修すべきと考えるが、見解を問う。

答 県道改良工事と併せて一部付け替え工事等大分県が行う計画であるが、道路事業に影響しない区間については、護岸・河床等、河川の損傷状態を見極めながら、市のほうで計画的に改修を行っていききたい。

問 県道に張り出している樹木の伐採等についても県に要望すべきではないか。

答 県道色宮港木立線を巡回したところ、県道に樹木が張り出している箇所があったので、県に伐採または剪定の要望をしている。



高齢者インフルエンザワクチン接種 無料に！
浅利 美知子

問 本市の令和元年度、高齢者のインフルエンザワクチン接種状況を問う。

答 高齢者は、本年8月末で27,774人である。令和元年度の接種者は17,364人、接種率は63%である。

問 コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行が懸念されている。本市の高齢者インフルエンザ予防対策を問う。

答 新型コロナウイルス感染症の感染拡大予防対策と同様に、「身体的距離の確保」、「咳エチケット、マスクの着用」、「入念な手洗い」等の新しい生活様式の実践を徹底していく。

問 高齢者のインフルエンザワクチン接種料を無料にする考えはないかを問う。

答 インフルエンザの感染を抑えるための緊急対策として、本年10月1日から行われるインフルエンザワクチン接種については、新型コロナウイルス感染により重症化しやすい高齢者ができるだけ多く接種を受けられるよう、令和2年度限りの措置として、全額市の負担とする。



**行政経営推進プランの
手数料見直しを**
矢野 幸正

問 一般廃棄物の指定ごみ袋の歳入(手数料)と歳出(ごみ袋作成委託料)の均衡が保たれるよう見直す考えはないか。

答 指定ごみ袋制事業の歳入は、年間で約9000万円、歳出は、年間で約3000万円、その差額は約6000万円でごみ処理事業の財源に充てている。

問 指定ごみ袋は、市民に分別排出の負担を求めめるものであり、差額金を市の固有事務である、ごみ処理の財源に充てるのは問題があると考えられる。均衡が保たれる手数料は、現行の10枚当たり300円から200円にすることは可能であると考えられるが、担当課へ見直し作業の指示はできないか。

答 指定ごみ袋の有料化は、合併により市内全域で開始している。カン・ビン・ペットボトルについて無料化した以外は料金改定をしていない。既に市民になじんでいる。現時点では見直しを考えていない。

10枚入り 300円
↓
10枚入り 200円にできないのか？



人財育成を問う！

井上 清三

問

特殊な仕事をやるということであれば、理解はできるが、2年・3年と連続して佐伯市以外から同じ職種の部長等の雇用は、ある意味では任命権者の目線に合格できない。つまり人材育成ができず、本市以外の他の自治体からの雇用となる。この状況がずっと続くようになれば、職員のモチベーションは上がらず、部長等の市外雇用になれば、当然人件費が増大し、同時に若者の市役所への雇用者数が少なくなる。さらには、行財政改革の中、大幅な職員の削減、こういったことも出てくる。そして、結果として、働く場所がなくなり、人口減少に拍車をかける。人口7万人から既に6万9000人台になり、一層人口減が加速する。本市の生命線に関わる重要な課題、本市の総合計画に、逆行・反対向きと思うが、考えを問う。

答

職員外から人材を招くことが職員のモチベーションにつながらないというデメリットはあるが、メリットもある。基本的には市の職員が全て、部長としてカバーできるのがベストであるが、政策によっては外部に人を求め、市の業務を推進していくということもやっている。



水産業に支援策を！

濱野 芳弘

問

コロナ禍において、魚価の低迷で水産関係者は非常に困っている。魚を獲っても高く売れない。このような状況下における漁船漁業（まき網、底びき網、船びき網）や定置網、潜水等への支援策を問う。

答

陸上養殖を除く漁業者は、需要の減少や魚価の低迷はあるものの、共済制度で加入者には補填がある。市としては、水産業の実態を踏まえ、魚価の低迷等で経営の厳しい漁業者には、この制度や国の持続化給付金の活用を進める。また、魚食の普及という観点からも、学校給食などへの活用に対応して支援したい。



▲ 鶴見市場の様子

問

佐伯城山は頂上からの眺めがよく、市街地から石垣が見えるようになれば全国の城ファンも喜ぶ観光の目玉になると考える。

問伐・伐採・剪定により頂上部の景観を整え、城跡の石垣を見えるように取り組む考えはないかを問う。

答

問伐・伐採・剪定については、平成29年3月に策定した「佐伯の城山の活用・保存等に関する基本方針」に基づき、生態系への影響等を踏まえながら、平成30年度から年次計画を立て、石垣周辺の木の剪定作業を継続的に実施している。これにより山頂からの眺望は改善しているものと認識しているが、市街地からの石垣の見え方については、まだまだ思うように見えていないのが現状である。

近年では、石垣の見えない城山が普通だと考えている若者や子どもたちが増えているのではと危惧している。

佐伯市のランドマークである城山の価値を更に高めるために、佐伯城跡の石垣がある頂上部においては、自然環境と調和の取れた間伐及び剪定等を行い、石垣を見せることで更なる魅力を発信していくよう、保安林等の規制について国、県等関係機関と早急に協議を行っていく。



佐伯城跡の石垣を観光資源に！

飛高 彌一郎



弥生井崎地区の排水路整備は？

塩月 健治

問 井崎地区の水害状況は。

答 平成28年度は、床下浸水が2件で、平成29年度は、台風18号により床上浸水が8件、床下浸水が30件である。市道の被害は、国道10号と並行して住宅の中を通過している市道桑園3号線と市道井崎線の排水状況が悪く、大雨になると冠水し、通行止めが発生している状況である。

問 地区内の排水対策は遅れているのか。

答 地区内に降った雨水を染矢排水機場までスムーズに流すための排水路の一部に、未整備箇所があることも浸水被害の要因の一つである。

問 今後の整備計画は。

答 井崎地区については、上流域での排水路整備が有効であると考え、今後、原因調査を行い、少しでも冠水時間が改善するための対策方法を講じていきたいと考えている。



▲ 佐伯市直川地区公民館



▲ 未整備区間 (市道桑園3号線)



地区公民館がコミュニティセンターに移行するの？

福嶋 勝彦

問

コミュニティセンターの設置及び新たな地域コミュニティ組織の構築については、市民への周知不足を懸念しているが、コロナ禍における地域住民への説明や広報等、その周知徹底について見解を問う。

答

12月定例会での関係条例の議案審議までに、より詳細で具体的内容を盛り込んだ(仮称)佐伯市地域コミュニティ推進方針について、議会に説明するとともに、区長会連合会を始めとした関係組織等にも説明し、パブリックコメントを実施することで市民周知を図っていく。

問

この制度は、単に地区公民館をコミュニティセンターに名称変更するだけでない。制度導入に伴う地域住民への影響についてどのように考えているのかを問う。

答

これまで、社会教育法によって一定の制限が掛かっていた地区公民館をコミュニティセンターに移行することによって、社会教育・生涯学習に加えて、住民活動、地域福祉など、より幅広い活動が可能になることから、特産品の物販など地域住民の自由な発想による手軽で自由な利用を引き出すとともに、地域に合った事業展開ができるようになることを期待できる。



給油所難民、どう防ぐ？

大野 達也

問

全国のガソリンスタンドが減少している。佐伯市においても、合併前の旧町村エリアを中心に大きく数を減らした。

今後も「人口減少に伴う需要減」、「経営者の高齢化」等により、更なるガソリンスタンドの閉鎖が危惧され、石油製品の安定供給への支障、ひいては地域の衰退につながることに懸念される。そこでガソリンスタンドの存続に対する市の考えを問う。

答

これまで佐伯市はサービスステーション（ガソリンスタンド）過疎地に見られるような状況には至っていないと認識してきた。

しかし、単身世帯の高齢者の増加によって、石油製品の配送需要は高まるものと予想される。地域課題を明確にし、地域と業者を繋ぐ役割を市が行う等の仕組み作りを研究していく。



佐伯市の財政は!?

佐藤 元

問

現在の財政状況について問う。

答

人件費については、職員総数を計画的に削減していき、その抑制を図っていく必要があると考えている。扶助費については、少子高齢化の影響により、児童福祉費は減少するものの、老人福祉費や社会福祉費が増加する見込みである。また本市は、平成28年度から収支不均衡の状況が続いている。

問

財政調整用基金について問う。

答

佐伯市行政経営推進プランで令和11年度末時点で、標準財政規模の20%に相当する額50億円以上を確保することを最終目標としている。行財政改革が進まない場合は、令和6年度末の基金残高は、計画目標に対して約28億円の不足額が生じる。

問

今後について問う。

答

経常経費の削減については、人件費の適正化、枠配分子算編成の導入、市債残高の削減を重点実施項目として取り組む。事業の見直しについては、一般財源の抑制や、職員数の削減に合わせた業務量の調整、部局による事業の棚卸を実施している。今後は、職員数についても予算同様に部局枠配分方式とし、財政構造の転換を図っていく。



緊急時の避難誘導は万全か！

高司 政文

問

緊急時における公共施設の避難誘導体制について、平成26年9月定例会の一般質問で、消防計画や行動計画の不備がある等の答弁があったが、その後の対応を問う。

答

一般質問直後、消防計画に「南海トラフ地震防災対策規定」を追加する必要があり、全ての公共施設で見直したので、消防計画等は整備されている。

問

人事異動に伴う消防計画の変更届はされているか。

答

2施設で変更されていなかった。

問

「さいき城山桜ホール」の避難誘導体制の整備について問う。

答

現在、作成した消防計画を消防本部と調整中で、開館までに避難訓練を行い、体制を整備する予定である。

問

夜間でも安全に避難できるよう、照明や誘導灯の設置などはできないか。

答

避難路整備と津波避難地案内標識など、最低限の整備を行ったため設置していない。夜間の避難に備えて、懐中電灯の準備と避難経路の確認を日頃からお願したい。

議員定数を議論

議員定数調査特別委員会を設置

佐伯市議会では、議員定数調査特別委員会（委員長濱野芳弘）を設置しました。議長を除く全議員で構成し、調査項目は「議員定数について」の一件だけです。

議員定数については、平成17年3月の新市発足以降、2回にわたり見直しを行ってきました。今回また議員定数の在り方について議員自らが議論をすることにしました。

佐伯市議会基本条例の中で、行財政改革の視点だけでなく、市政の現状、課題、将来の予測などを考慮することや、また、市民の意見を聴取するために議会モニター制度等を活用することなどが記載されています。

アンケート調査等で意見聴取

議員定数に関する市民アンケート調査は、18歳以上の市民1000人の方を対象に無作為抽出し、郵送しました。

また、一般モニターと団体モニター（区長会連合会含む）の方々からも意見を聴き、議員定数調査特別委員会で議論をします。

令和2年度

大分県市議会議長会議議員研修会に参加

令和2年10月6日（火）、レンブラントホテル大分で評論家である石平氏を招き、「中国の経済・政治情勢と今後の行方」とのテーマで、アフターコロナの中国政治と習近平体制の今後、米中関係の全面的悪化と中国外交の四面楚歌、アフターコロナの中国経済と今後の行方について講演されました。貴重な研修会となりました。



▲研修会の様子

第12回議会報告会

「議員と語るつ会」中止

今年度、開催を延期していましたが第12回議会報告会「議員と語るつ会」は、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、中止いたします。

12月定例会のお知らせ（予定）

日	月	火	水	木	金	土
11/29	30	12/1	2	3	4	5
			議運 本会議 (開会日)			
6	7	8	9	10	11	12
		議運 本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	本会議 (一般質問)	
13	14	15	16	17	18	19
		建設経済 教育民生 常任委員会	総務 常任委員会	予算 特別委員会		
20	21	22	23	24	25	26
		議運 本会議 (開会日)				

編集後記

今年の夏は今までに経験したことのない暑さでした。それに加え新型コロナウイルス対策で、大変な思いをした人も多かったのではないのでしょうか？

ここ数年の暑さは、地球温暖化によるものか、歳を取ったせいなのか？悩むところです。

暑かった夏が過ぎ、朝夕過ごしやすくなってきました。秋と言えば「食欲の秋、読書の秋、スポーツの秋」です。

議会だよりの表紙は、東雲小・合同秋季大運動会の模様です。新型コロナウイルス対策で、夏にマスクをしての練習は大変だったと思います。3年生は最後の運動会で沢山の思い出ができたことでしょう。

私も広報委員会に所属し、先輩や同僚にアドバイスを受けながらの4年間でした。

これからも議会だよりを御愛読いただきますよう、よろしくお願いたします。

広報委員 坪根 大吉

本会議等の録画映像などは市議会のHPで公開しています。

